P. O. F. I. LIBRARY
MAR 27 1959
FISH & WILDLIFE SERVICE

鮪漁業

TUNA FISHING

鮪漁業 第五十六号 昭和三十四年二月十日発行（毎月一回十日発行）
昭和三十一年二月二十三日 第三種郵便物認可

―― 海 況 観 測 （第11 順光丸）――

THE INVESTIGATIVE SOCIETY OF TUNA FISHERY ••• JAPAN •••

鮪 漁 業 研 究 会

No. 56, 1959

倉敷ビニロン クレモナ 万漁

鮪延縄◆ロープ◆漁網

くさらない
使いやすい
値も安い

倉敷レイヨン株式会社

本　社　大阪市北区梅田2（第一生命ビル）
東京事務所　東京都中央区日本橋室町　2の4

川崎ヘルショウ式
電動油圧　舵取装置

1HP～3HP

其の他 ディーゼル機関の排気利用による小型船用 造水装置

川崎重工業株式會社

神戸市生田区東川崎町二丁目一四（電）湊川(5)7531
東京支店　東京都港区芝田村町一丁目（日比谷ビル）（電）(59) 6101
（本紙名記入の上御一報下さればカタログ御送附致します）

目　次

鮪漁船紹介　第21海幸丸　茨城丸

鮪漁場図　（昭和33年4月操業）

1958年4月に於ける鮪漁場の漁況と海況（Fishing and Sea Conditon of Tuna Fishing Grounds in December 1958） ………… 1

1. 調査の概要 ………… 1

2. 漁況の概要 ………… 1

3. 各海区の漁況 ………… 2

A. 赤道以北140°W以東の漁場 ……… 2

B. 赤道以南140°W以東の漁場 ……… 2

C. 赤道以北180°～140°Wの漁場 …… 3

D. 赤道以南180°～140°Wの漁場 …… 4

E. 北部太平洋漁場 ……… 4

F. 旧南洋庁沿海漁場 ……… 5

G. ソロモン以南漁場 ……… 6

H. 西太平洋漁場 ……… 7

I. 東部印度洋漁場 ……… 7

J. 中西部印度洋漁場 ……… 8

K. 大西洋漁場 ……… 9

月別，漁場別，鮪類漁獲調査表（昭和33年4月操業分）別表1 ………… 10

月別，漁場別，鮪類体長組成表（昭和34年4月操業分）別表2 ………… 14

マグロ漁況概況予報（昭和34年3月） ………… 神奈川県水試遠洋資源係 ………… 20

会員レポート　東部太平洋赤道付近の3月の海況とマグロの生態　第30振興丸漁撈長　会員　石渡喜久司 … 22

ハワイ南西海区10°N線の3月の漁況 ………… 第7昭福丸漁撈長　会員　伊藤定規 … 22

キハダ，メバチ，ゴウシュウマグロの体長—体重換算図表 ………… 神奈川県水産試験場　中込　淳 … 23

鮪類標識放流について ………… 24

—表紙写真　海上電機　渡辺氏提供—

各種鋼製漁船の建造並に修理

株式会社　金指造船所

本社工場	清水市三保4010—19	電話　清水(2)4111～5
塚間工場	清水市三保弁天492	電話　清水(2)5151～2
東京事務所	東京都港区芝田村町3ノ4	電話　芝(59)1306～8
三崎出張所	三浦市三崎町西野34	電話（三浦）2851

第21　海　幸　丸

船　主	柳下弥三郎（三浦市）	
造船所	徳島造船産業株式会社	
主要寸法		長36.30m×幅6.80m×深3.40m
総屯数		237.84屯
魚艙容積		235.00m³
燃料油艙		130kl
速　力		最大　10.00節
主　機	デーゼル650HP（新潟鉄工）	1基
補　機	デーゼル125HP，75HP（新潟鉄工）	各1基
無　線	250W，75W（日本無線）	各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式　75HP，30HP	各1基
レーダー（日本無線）方探（光電製作）其の他		各1式
竣　工		昭和33年6月　日

各種漁船用ディー
50馬力～

株式会社　赤

本　社　東京都中央区銀座一ノ
北海道出張所　札幌市北四条西六丁目
大阪出張所　大阪市東区北浜四ノ三
工　場　静岡県焼津市中港町

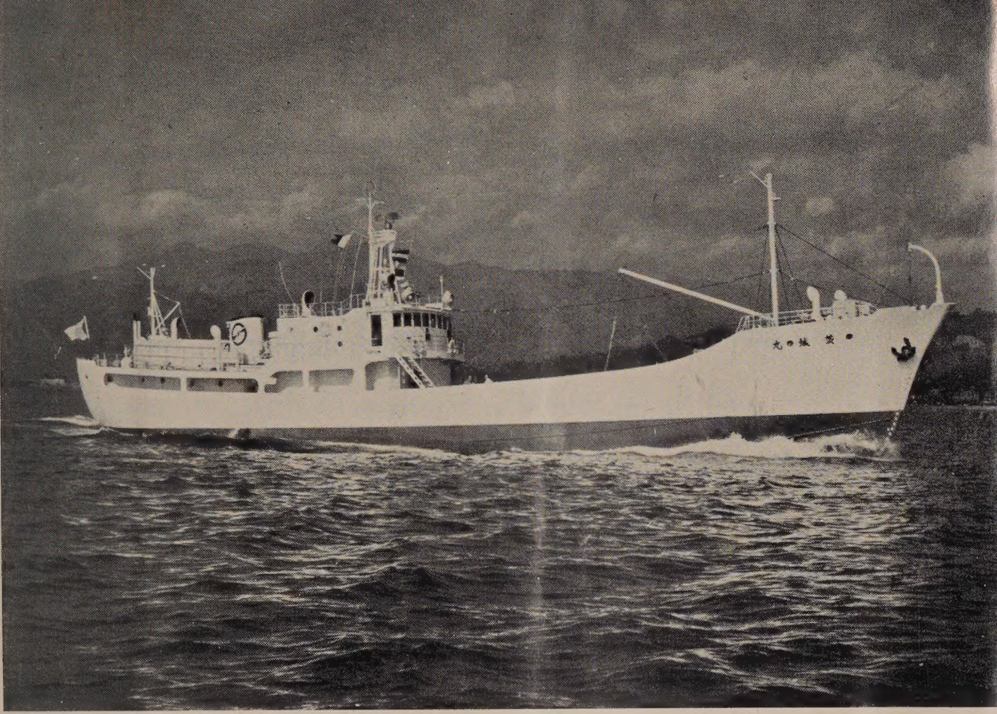
漁船の冷凍装置に定評ある

日新興業株式会社

本　社　大阪市北区中之島3の3　（朝日ビル）TEL. 北浜（23）9736―7（直通）
大代表(23)9531(朝日ビル交換台)
東京支店　東京都中央区銀座西6の3（朝日ビル）TEL. 銀座（57）6804.6810.6811
清水出張所　清水市三保本村四区　TEL. 清水（2）3507
三崎サービスステーション三浦市三崎町西野34金指造船所三崎出張所内TEL.三浦2851

施工船名

第21海幸丸
茨城丸
耕洋丸
第68大栄丸
第25福吉丸
第1新南丸
（其の他約五百隻）



茨　城　丸

船　主	株式会社　茨城県漁業公社（那珂湊市）	
造船所	株式会社　三保造船所	
主要寸法		長42.80m×幅7.50m×深3.80m
総屯数		353.58屯
魚艙容積		370.18m³
燃料油艙		194.97m³
速　力		最大　12.23節
主　機	デーゼル800IP（阪神内燃機）	1基
補　機	デーゼル100IP（赤阪鉄工）	2基
無　線	200W，100W（穂高通信）	各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式　50IP	2基

レーダー（神戸工業）方探（光電製作）音測（海上電機）操舵機（川崎ヘルショウ型）M.C.P.（東京計器）其の他　各1式

竣　工		昭和33年11月9日

ゼル機関は定評ある
000馬力
阪鉄工所
（千成屋ビル）電話京橋（56）4902〜3
北洋ビル）　電　話（3）4507
電話北浜（23）4790
九四　電話（焼津）2121〜5

鋼製漁船・貨物船・建造並びに修理

株式会社　三保造船所

本　社　静岡県清水市三保3797　電話清水(2)代表2201番
東京事務所　東京都中央区八重洲3の7東京建物ビル705　電話　千代田（27）5522.6775.9761番

最新の技術と堅牢・高性能を誇る

穂高の漁業無線機を

穂高通信工業株式会社

本社工場	東京都新宿区下落合1—6	TEL (95) 2595・6219
大阪営業所	大阪市西区京町堀上通2—21協栄ビル	TEL (44) 5792・4109
東京工場	東京都新宿区下落合1—6	TEL (95) 2595・6219
長野工場	長野県南安曇郡穂高町2579	TEL (穂高) 61
代理店	小樽・函館・八戸・気仙沼・石巻・塩釜・小名浜・那珂湊・銚子・三崎・清水・焼津・室戸・下関	

営業品目

商船用・漁船用並びに陸上用無線通信装置の製造

装備・補修一式

七洋電機株式会社

本社　東京都目黒区中目黒4丁目1315番地

電話荏原 (712) 2525・2526・3314番

太洋無線が世界に誇る

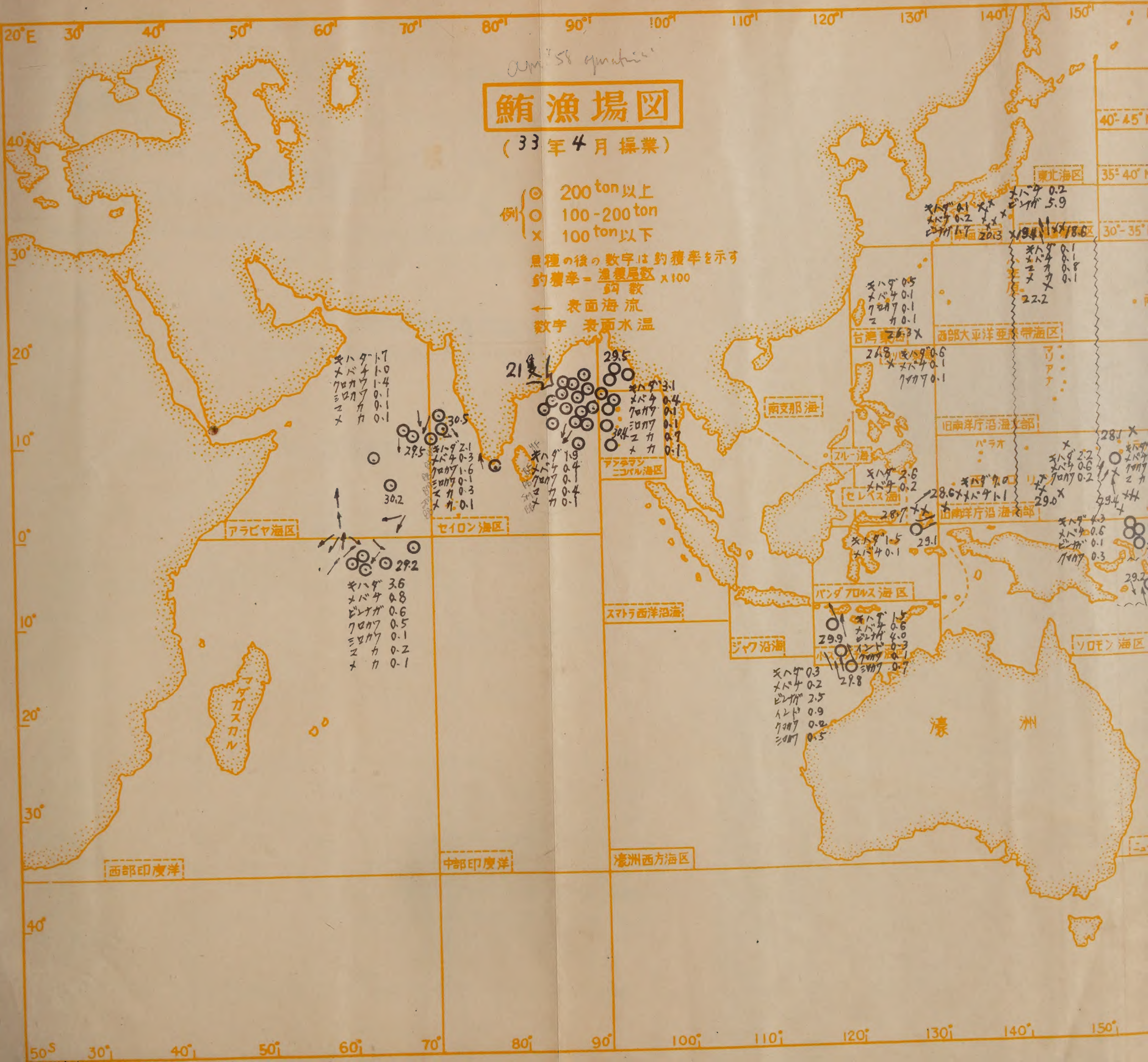
船舶用　航空機用　陸上用　各種

自動方向探知機

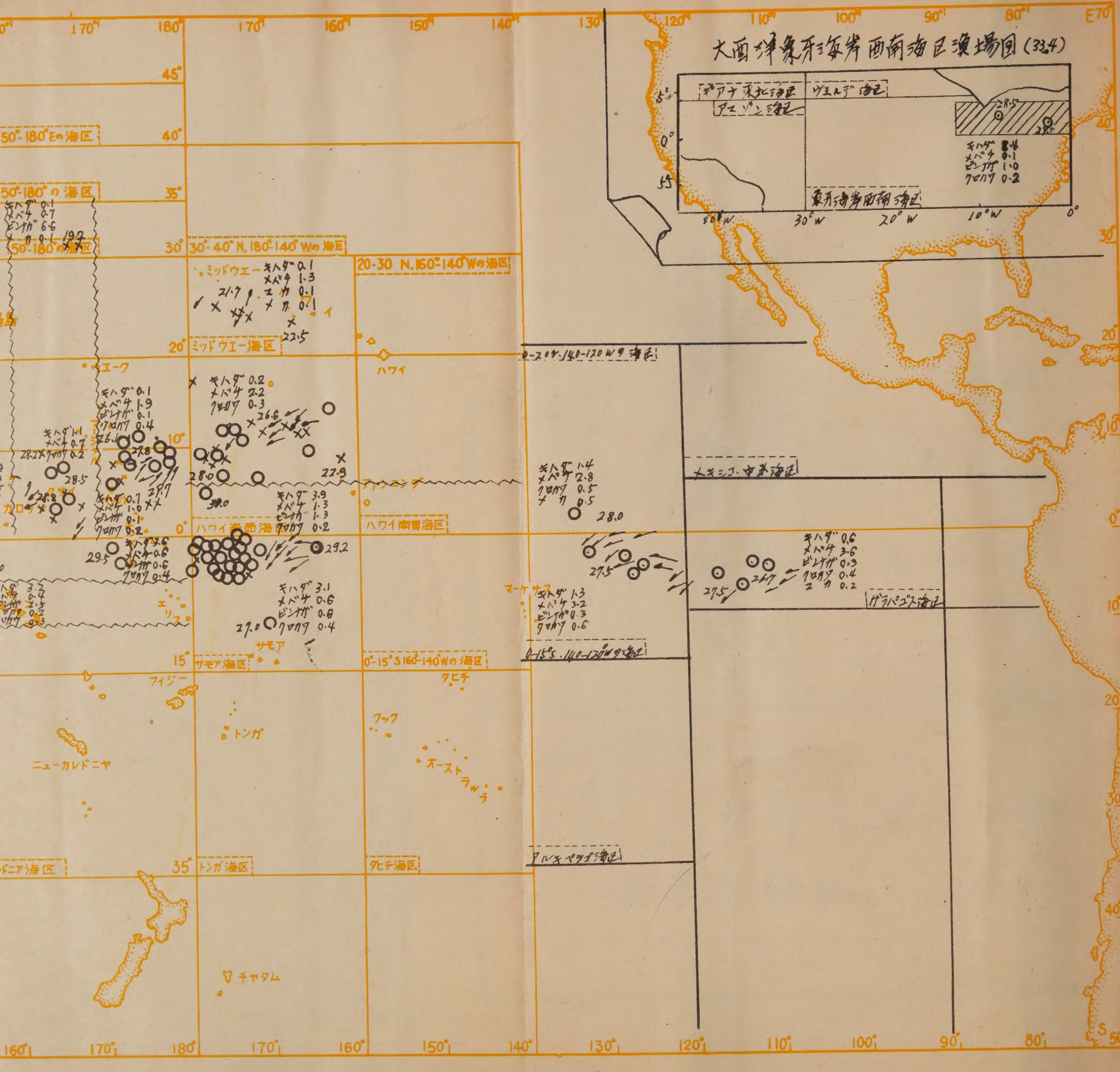
太洋無線株式会社

東京都渋谷区衆楽町48番地

電話渋谷 (46) 代表5283—9番



鮪漁場図
(33年4月操業)
例
200 ton 以上
100-200 ton
100 ton 以下
魚種の後の数字は釣獲率を示す
釣獲率 = 漁獲尾数 / 鈎数 × 100
表面海流
数字 表面水温
アラビヤ海区
セイロン海区
アンダマン ニコバル海区
南支那海
台湾東部
西部太平洋亜熱帯海区
東北海区
旧南洋庁沿海北部
旧南洋庁沿海南部
スル一海
セレベス海
バンダ アルス海区
スマトラ西洋沿海
ジャワ海
ソロモン海区
西部印度洋
中部印度洋
濠洲西方海区
マダガスカル
濠洲
マリアナ
パラオ
40°-45°
35°-40°
30°-35°



大西洋象牙海岸西南海区漁場図 (33.4)
ギアナ東北海区
ヴェルデ海区
アマゾン海区
象牙海岸西南海区
キハダ 2.4
メバチ 0.1
ビンナガ 1.0
クロカワ 0.2
50°-180°Eの海区
50°-180°の海区
キハダ 0.1
メバチ 0.7
ビンナガ 6.6
メカ 0.1
30°-40°N, 180°-140°Wの海区
20-30 N.160°-140°Wの海区
ミッドウエー
キハダ 0.1
メバチ 1.3
マカ 0.1
メカ 0.1
ミッドウエー海区
ハワイ
ウエーク
0-20°N.140-120°Wの海区
キハダ 0.2
メバチ 2.2
クロカワ 0.3
キハダ 0.1
メバチ 1.9
ビンナガ 0.1
クロカワ 0.4
キハダ 1.1
メバチ 0.7
クロカワ 0.2
ファンニング
キハダ 1.4
メバチ 2.8
クロカワ 0.5
メカ 0.5
メキシコ中米海区
キハダ 0.7
メバチ 1.0
ビンナガ 0.1
クロカワ 0.2
キハダ 3.9
メバチ 1.3
ビンナガ 1.3
クロカワ 0.2
ハワイ南西海区
ハワイ南東海区
キハダ 0.6
メバチ 3.6
ビンナガ 0.3
クロカワ 0.4
マカ 0.2
キハダ 3.1
メバチ 0.6
ビンナガ 0.6
クロカワ 0.4
マーケサス
キハダ 1.3
メバチ 3.2
ビンナガ 0.3
クロカワ 0.6
ガラパゴス海区
エリス
サモア
サモア海区
0°-15°S 160°-140°Wの海区
0-15°S.140-120°Wの海区
タヒチ
フィジー
クック
トンガ
オーストラル
ニューカレドニヤ
ニューカレドニア海区
トンガ海区
タヒチ海区
アルキペラゴ海区
チャタム

1958年・~~12~~ 4月に於ける鮪漁場の漁況と海況

（依託調査船172隻の資料に依る）

Fishing and Sea Condition of Tuna Fishing Grounds in December 1958

(By the dlata collected from the 172 appointed boats)

1 調 査 の 概 要

昭和33年4月に調査した鮪延縄漁船は、三崎で57隻、焼津45隻、東京70隻、總数172隻であつた。体長測定調査実施船数は69，調査海区数は25である。

2 漁 況 の 概 要

（キ　ハ　ダ）

0—20°N, 140—120°W の海区は好漁期であるが低く、ガラパゴス海区は不漁期、0—15°S, 140—120°W は好漁后期に入り、ハワイ南西海区 5°N 以北は低率の后期で上昇直前であろう。同海区 5°N以南は春の高率、サモア海区も高率で夏に向つて増加しつゝあり、西部太平洋140—150°Eでは低率、南洋北部170°E以東は低く、南部170°E以東の海域は、昨年11月からおおむね低率が続き、以西においては、130—140°Eの海域が特に高いほか、150—160°Eが好漁、140—150°Eの海域もやや好漁であつた。ソロモン海区は高率期にあり、フイリピン海区の南東部はやや漁好、バンダ・フロレス海区北東部は低率期にあり、小スンダ・チモール海区はやや好漁、濠洲西方海区は不漁である。アンダマン・ニコバル海区は高率、セイロン海区は好漁前期であるが、まだ増加に至らず、アラビア海区も好漁前期にあり、西部印度洋は2月から僅かづつ漸増しているが、夏に向つて低下が見込まれる。大西洋象牙海岸西南海区北東部は好漁である。

（メ　バ　チ）

0—20°N, 140—120°W の海区は高率、ガラパゴスでは好漁后期、0—15°S, 140—120°W の海区も高率、ミッドウエー海区は比較的好漁、ハワイ南西海区 5°N以北は減少中であるがやや高く、5°N 以南は好漁、サモア海区はやや好漁である。伊豆諸島東方は南海海区、西部太平洋140—150°Eの海域とともに低く、南洋北部170°E 以東は好漁期、南洋南部170°E以東は不漁となり、以西各海域は中程度の漁である。バンダ・フロレス海区は低率期、小スンダ・チモール海区はやや好漁であるが、濠洲西方は不漁、アンダマン・ニコバル海区は低率、セイロン海区、アラビア海区も低く、西部印度洋海区は好漁となりつつある。

（ビ　ン　ナ　ガ）

ハワイ南西海区 5°N以南は好漁がみられ、30—35°N, 150°E—180°の海区では160—

170°Eで特に高率、伊豆諸島東方海区も高率で南海海区は低下、小スンダ•チモール海区は高率期に入り、西部印度洋および象牙海岸西南海区は不漁である。

(ク ロ カ ワ)

0—20°N, 140—120°Wの海区は好漁、ガラパゴス海区および0—15°S, 140—120°Wの海区も好漁、ハワイ南西海区5°N以北の海域はまだ低率、5°N以南およびサモア海区も低率、南洋北部170°E以東は好漁期に入つたが、南部170°E以東は不漁。南部170°E以西も150—160°Eの海域を除いて全般的に不漁である。アラビア海区は高率、西部印度洋は高い。大西洋象牙海岸沖は低率であつた。

(その他のカジキ類)

シロカワは、小スンダ•チモール海区でやや好漁、マカジキはガラパゴス海区、ミッドウエー海区、西部太平洋140—150°Eで高率、アンダマン•ニコバル海区、セイロン•アラビア、西部印度洋海区も好漁であつた。メカジキは、ミッドウエー、アラビア海区でやや好漁がみられた。

3 各海区の漁況

A. 赤道以北140°W以東の漁場

(0—20°N, 140—120°Wの海区)

この漁場の調査船は1隻で、130—135°W, 赤道附近の海域で操業している。海流はおおむね東流である。

(キ ハ ダ)

キハダは、冬季の低率から上昇を始めて好漁期に入つたようである。

(メ バ チ)

この海区におけるメバチは、好漁後期と思われ、4月の調査船1隻は2.84の高率を示している。5月には低率となつて、以後好漁に向うであろう。

(ク ロ カ ワ)

クロカワは30年以来比較的低率であつたが、4月は0.48と好漁であつた。

B. 赤道以南140°W以東の漁場

(ガラパゴス海区、0—15°S, 140—120°の海区)

ガラパゴス海区では、2月以来の漁場で操業が続き、調査船は増加して4隻となり、0—15°S, 140—120°Wの海区においては、4隻が海区北部海域の中央部で調査された。

(キ ハ ダ)

ガラパゴス海区西部におけるキハダは低率期に入り、0.64と不漁、0—15°S, 140—120°Wの海区の漁場も、3月の好漁盛期から減少しているが、まだ高率期にあると思われる。

后者のキハダは大型で、調査魚の体長はすべて131cm以上、モード(山)は151—160cmにあつて3月より大型である。

(メ バ チ)

ガラパゴス海区では、2月のいちじるしい高率から低下中であるが、なお3.59の高

率、0—15°S, 140—120°Wの海区は好漁期と思われ、3.15を示している。

ガラパゴス海区の魚体は大型、0—15°S, 140—120°Wの海区も従来と同様に大型で161—170cmにモードがみられる。

(ビ　ン　ナ　ガ)

この漁場のビンナガは周年低率であるが、4月には、ガラパゴス0—15°S, 140—120°Wの海区それぞれ0.27, 0.32となつて、從來に比較して最も高い。

(クロカワ、マカジキ)

この附近のクロカワは、4月頃好漁を示すようで、ガラパゴス海区は0.44, 0—15°S 140—120°Wの海区は0.62と冬季より上昇している。

マカジキは、ガラパゴス海区でやや好漁となつている。

クロカワの体長組成は、ガラパゴス海区において171—180cmにモードがみられ、従来と同じく大型から小型まで分散していて、1月、3月より型の小さなものが多くなつている。

ガラパゴスのマカジキは、昨年12月程ではないが大型で、4月には、171—180cmにモードがみられ、171—190cmのものが58.9を占めている。

C. 赤道以北 180°—140°Wの漁場

(ミッドウエー海区、ハワイ南西海区 5°N以北、ハワイ南西海区 5°N以南)

この漁場における調査船は3月より激減し、ミッドウエー海区では4隻、ハワイ南西海区 5°N以北では3月と同様の漁場で23隻、5°N以南の海域では西部と中部南寄りで各1隻、総計30隻であつた。漁場および海流については漁場圖参照のこと。

(キ　ハ　ダ)

ミッドウエー海区は低率、ハワイ南西海区 5°N以北は好漁期前でまだ不漁、5°N以南は既に好漁期と思われ、180°線附近で操業した1隻が、特に5.16の高率を得ていた

体長組成は、ミッドウエー海区では調査尾数少く、ハワイ南西以北では、3月よりさらに型の小さなものが減つて、モードも121—130cmから131—140cmに移つている。

(メ　バ　チ)

ミッドウエー海区では冬の好漁期を過ぎているが、この海区のメバチは不漁期にもあまり低率とならず、1.0程度の釣獲率が続き、4月は1.31を示している。ハワイ南西海区 5°N以北においては好漁期であるが、1月の高率3.64以來減少が続いて4月は2.24となり、なお高率である。ハワイ南西 5°N以南の海域は、西部、中部の2隻とも1.3の同率で好漁であつた。5°N以南では、以北程はつきりした釣獲率の変化があらわれない。

ミッドウエー海区では、ますます大型となつてモードは151—160cmにあり、151—170cmのものが50.7%を占めている。ハワイ南西海区 5°以北の海域の体長組成は3月とほぼ同形であるが、やや大型となつている。

(ビ　ン　ナ　ガ)

ミッドウエー海区におけるビンナガは、不漁期となつて0.01の低率、ハワイ南西海

区においては周年低率であるが、5°N以南の海域180°線附近の1隻は、1.80を示して好漁であつた。

（クロカワ・マカジキ）

ミッドウエー海区では周年不漁。ハワイ南西海区5°N以北は好漁期直前で例年より早く増加を始めた。5°N以南は、0.17の低率である。

マカジキはミッドウエー海区で3月から釣獲率上昇の傾向をみせている。

クロカワの体長組成は、ハワイ南西海区5°N以北においては、2月、3月と同様でモードも変化ない。

マカジキは、ミッドウエー海区では従来よりやや小型、ハワイ南西5°N以北においては、3月とほぼ同じ組成であつた。

D. 赤道以南180°—140°Wの漁場

（サ モ ア 海 区）

サモア海区北部の西方海域に多数船が密集して21隻が調査され、3月より激増している。海流は漁場圖參照のこと。

（キ ハ ダ）

サモア海区北西部では好漁期にあつて3.12, さらに増加が期待され、夏の終りまで好漁が続くであろう、海区南部のサモア諸島北方海域は低く、0.06を示すに過ぎない

体長組成をみると、モードは2月に変らず131—140cmにみられて小型である。

（メ バ チ）

メバチは、北部海域では低く0.62であるに過ぎないが、南部は高率、サモア諸島北方の1隻は1.35と好漁である。

サモア海区北部のメバチは、おおむねハワイ南西海区5°N以北と同様の体長組成を示しているが、やや小型が多い傾向にある。

（ビ ン ナ ガ）

サモア海区におけるビンナガは、31年8月以後好漁なく、4月は北部で0.62と従來より好漁、南部は0.01の低率であつた。

（ク ロ カ ワ）

クロカワは、この海区では好漁期に当るが、31年以来、釣獲率は1.0に達せず、4月も北部で0.36, 南部で0.19を示すに過ぎない。

サモア海区の体長組成は、南洋南部と近似していて小型が多くモードは141—150cmにあり、141—170cmの体長範圍のものが、46.3%に達している。

E. 北部太平洋漁場

（30—35°N, 150°E—180°の海区伊豆諸島東方海区、
南海海区、西部太平洋亜熱帯海区170°E以西）

30—35°N, 150°E—180° の海区においては、167—170°E の30°N 線附近で2隻、伊豆諸島東方海区でも30°N線附近で3隻、南海海区の7隻は3月と同様に海区東部、さらに西部太平洋では、140—150°Eの海域のみが調査され、その中央部で1隻、計13

隻を調査した。漁場水温は、いづれの海区においても上昇がみられる。

（キ　ハ　ダ）

西部太平洋140—150°Eの海域は好漁期前にあり、0.11とまだ不漁である。他の3海区では、キハダは不漁である。

南海海区の魚体は大型となつて、モードが131—140cmにみられる。

（メ　バ　チ）

30—35°N, 150°E—180°の海区中央部30°N線北側のメバチは、低率期にあるがやや高く0.68，伊豆諸島東方、南海および西部太平洋においても低率期となつている。

体長組成は、30—35°N, 150°E—180°の海区は小型、南海海区では、3月とほぼ同様に、100cm以下のものが調査尾数の半ばに達している。

（ビ　ン　ナ　ガ）

30—35°N, 150°E—180°の海区165—170°E, 30°N線附近の2隻は、なおビンナガのいちじるしい好漁を得て6.61の高率である。伊豆東方南部においても高率であつて5.91，特に東よりの145—147°Eで6.37の好漁を得た。南海海区のビンナガは、2月の高率3.96から3月4月と減少を続け、1.67となつた。西部太平洋の調査海域140—150°Eの中央部の1隻は極めて低率となつている。

南海海区におけるビンナガの体長組成は、2月3月とほぼ同形、71—80cmにモードがあつて小型である。

（クロカワ、マカジキ）

西部太平洋140—150°Eの海域のクロカワは不漁、マカジキは、同海域で好漁0.81である。

30—35°N, 150°E—180°の海区におけるマカジキの体長測定尾数は極めて少なかつたが大型、南海海区では、131—210cmの範囲に広く分散している。

F. 旧南洋庁沿海漁場

（旧南洋庁沿海北部、同南部）

南洋北部では、170°E以東の海域の10°N線附近で2隻、南部170°E以東では、2°N以北に11隻が分散して操業、170°E以西では、25隻が130—170°Eの範囲で調査され、総計38隻であつた。

（キ　ハ　ダ）

北部170°E以東のキハダは、10°N線附近で0.14の低率、南部170°E以東は0.66と低率、初夏には高率を呈するかも知れない。南部130—140°Eの南西部では、6.99と異常な高率を示し、特に西よりの1—3°N 130—132°Eの1隻は8.18といちじるしく高い。140—150°Eの海域は好漁期に入つたようで、以北以南による差はなく、150—160°Eも好漁で、5°N以南が特に高率、160—170°Eは不漁でないが、以西海域で最も低く、他海域と同

表 1. 舊南洋廳沿海南部におけるキハダの漁況 (33.4)

	130—140°E	140—150°E	150—160°E	160—170°E	170°E—180°
5°N以北	—	2.64	0.08	0.62	0.24
5°N以南	6.99	2.12	5.59	1.11	4.44

様に以南が以北より高い。（表1）

体長組成は南洋南部でのみ調査され、170°E 以東においてはモードは３月に変らないが、大型が増えてやや恢復し、17°E以西の海域では３月と変化ない。

（メ　バ　チ）

南洋北部のメバチは、170°E以東の南方で２月から低減しつつあつたが、1.89 を示して好漁である。南部170°E 以東は低率となり、南部130—140°Eおよび150—160°Eでは、３月より僅か増加しているが、他海域は減少、いづれも5°N以北は以南より高い。（表２）

表 2. 舊南洋廳沿海南部におけるメバチの漁況 (33.4)

	130—140°E	140—150°E	150—160°E	160—170°E	170°E—180°
5°N以北	—	11.9	1.54	1.52	0.89
5°N以南	1.14	0.54	1.20	0.50	0.70

北部170°E 以東におけるメバチは、120cm 以下のものが消滅して３月より大型がはるかに多く、南部170°E以東も大型が増加してモードは141—150cmにうつり、南部170°E以西の海域は３月と同形であつた。

（ク　ロ　カ　ワ）

北部170°E以東の海域は、好漁前期に入つて 0.39, 南部では、160—170°Eの 5°N以北が最も高く、150—160°Eの 5°N以南も好漁、140°E 以西は不漁で変らず、170°E 以東は減少している。

表 3. 舊南洋廳沿海南部におけるクロカワの漁況 (33.4)

	130—140°E	140—150°E	150—160°E	160—170°E	170°E—180°
5°N以北	—	0.35	0.28	0.57	0.19
5°N以南	0.01	0.21	0.45	0.13	0.35

北部170°E以東では体長測定尾数が少いが、南部以東の海域と同様の傾向にあるようで、南部170°E以東では、161—170°Eに、また南部以西では151—160cmにそれぞれモードが見られて、ソロモン海区北部より大きいが、やや小型の傾向を示している。　表（３）

G. ソロモン以南漁場

（ソロモン海区）

ソロモン海区北部および中西部における漁場位置は、2月 3月と同様であり、0—5°Sの調査船は、3月より増加して、その東部で２隻、西部にニューアイルランド東方海域で５隻、さらに5—10°Sのソロモン諸島西方では１隻、計８隻を調査した。

（キ　ハ　ダ）

0—5°S の海域西部では、3月の高率 5.56 からやや減じたが4.31の好漁、東部では、やや増加して 3.56と好漁、5—10°S の西部は３月より僅か減少しているが、3.17とまだ好漁である。 表（４）

表 4. ソロモン海区におけるキハダの漁況 (33.4)

	150—160°E	170—175°E
0—5°S	4.31	3.56
5—10°S	3.17	—

魚体は全般的に小型であるが、やや大型となつて１月の組成に近く、0—5°S, 170—175°Eの海域は特に大型で、50%以上を131—140cmのものが占めていた。

(メ　　バ　　チ)

表 5. ソロモン海区におけるメバチの漁況 (33.4)

	150—160°E	170—175°E
0— 5°S	0.56	0.57
5—10°S	0.39	—

ソロモン海区のメバチは、0—5°Sの海域で増加し、中西部では0.39で3月とほとんど変らない。体長組成をみると、0—5°Sの西部海域および5—10°S で従来より大型となり、121—130cm にモードがある。 表(5)

(ビ　ン　ナ　ガ)

3月に好漁であつた0—5°S, 150—160°Eのビンナガは、0.10の低率となつて、東部は変らず、5—10°S西部は好漁期に入り2.49に急増、しばらく高率が続くであろう。

表 6. ソロモン海区におけるビンナガの漁況 (33.4)

	150—160°E	170—175°E
0— 5°S	0.10	0.58
5—10°S	2.49	—

ソロモン海区北東部のビンナガは、91—100cmにモードがあつて、従來と同形である。

(ク　ロ　カ　ワ)

この海区のクロカワは、北部、中部とも2月からおおむね漸増していて、4月は3海域やや好漁となつている。

H. 西 太 平 洋 漁 場

(台灣東海、フイリピン東海)

この漁場における調査船は少く、台湾東海の南東部で1隻、フイリピン東海の北部で1隻、南東部で2隻、計4隻であつた。台湾東海 海区は11ヶ月ぶりに調査されている。

(キ　　ハ　　ダ)

台灣東海海区のキハダは、0.50で昨年と同様に低く、フイリピン東海北部も0.56と同率、同海区南東部は好漁で2.61を示している。

(メ　　バ　　チ)

台灣東海では周年低率、フイリピン東海海区北部も同じく低率、同海区南東部は0.23で、南洋南部の西方海域よりも低率であつた。

I. 東部印度洋漁場

(バンダ・フロレス海区、小スンダ・チモール海区、
アンダマン・ニコバル海区、濠洲西方海区)

調査船は総計12隻、バンダ・フロレス海区ではブル島北方で1隻、小スンダ・チモール海区にては小スンダ列島南方の2隻、アンダマン・ニコバル海区では、アンダマン諸島西側および北方海域で8隻を調査した。調査海域の海流については漁場圖を参照されたい。

(キ　　ハ　　ダ)

バンダ海のキハダは、昨年11月の高率から減少を続けているが、4月はブル島北方海域で1.46となり、この海区としては低率。小スンダ・チモール海区は、低率期に当

つて3月は0.80と低かつたが、4月は恢復して1.52を示しやや好漁である。アンダマン・ニコバル海区のキハダは高率、10°N以北の北方漁場が3.01，以南が2.30である。濠洲西方海区は低率期にあり、0.32ともつとも不漁である。

体長組成は、小スンダ・チモール海区にあつては、3月121—130cmにあつたモードが111—120cmと131—140cmとに別れ、100cm以下、161cm以上のものが消滅している アンダマン・ニコバル海区におけるキハダの体長範圍は、小スンダ・チモールとほぼ同様であるが、型は大きく、131—150cmのものが65.9%に達している。

（メ　バ　チ）

バンダ・フロレス海区のメバチは上昇を始めた模様であるが、北部海域で不漁、小スンダ・チモール海区は好漁期前で上昇、濠洲西方海区も増加の傾向をみせているが0.17の低率、アンダマン・ニコバル海区は0.41で例年に比較して不漁であつた。

アンダマン・ニコバル海区の魚体は、從來と同様に大型であり、151—160cmにモードがみられ、151—170cmのものが57.1%に達している。

（ビンナガ・インドマグロ）

ビンナガは、小スンダ・チモール海区で好漁期に入り、3月より激増して3.99の高率、濠洲西方海区のビンナガも好漁期である。インドマグロは、小スンダ・チモール海区と濠洲西方海区でともに3月より急減、不漁期となつた。

小スンダ・チモール海区におけるビンナガの体長組成は、2月および3月とほぼ同様で、モードも変らない。

（クロカワ・シロカワ）

これらの漁場におけるクロカワとシロカワはおおむね不漁であるが、シロカワは、小スンダ・チモールで0.68，濠洲西方で0.54の好漁を示している。

J. 中西部印度洋漁場

（セイロン海区、アラビア海区、西部印度洋海区）

セイロン海区の調査船は25隻で、ベンガル灣北部における操業船の増加がいちじるしく、アラビア海区は3月と同漁場で5隻、西部印度洋海区においては、5隻が赤道附近、60—70°Eに集中して調査された。漁場の詳細および海流については漁場圖參照のこと。

（キ　ハ　ダ）

セイロン海区は好漁期であるが、3月より僅か増加した程度で4月は1.92，アラビア海区側の3隻がベンガル灣の21隻より高率である。この海区では、一昨年以前のような高率は望めないが、昨年と同じ傾向を示すものならば、5月にはさらに増加するであろう。アラビア海区のキハダは、4月に入つてやや減少し1.74であるが、やがて上昇に転じよう。西部印度洋海区においては、漁場が赤道附近に集中したが、釣獲率はほとんど変化なく、2月より極めて僅かづつ増加の傾向にある。この海区における4月の調査船5隻のうち、2隻は4.5前後の高率であつた。

セイロン海区のキハダの体長組成は、3月とおおむね変りなく、アラビア海区はセイ

ロン海区より小型、2月に比較してやや型の大きいものが増えている。

（メ　バ　チ）

セイロン海区のメバチは、3月より急減して、北東部、西部海域とも同様に低率0.36である。アラビア海区においては、2月から急激が続いて4月は0.95, 5月には再び増加して、しばらく好漁が続くであろう。西部印度洋のメバチは、赤道附近で0.83と増加しているが、この海域では、夏に入つて好漁を示すであろう。

セイロン海区、特に北東部のメバチは大型となり、161—170cm にモードがみられ、アラビア海区は、3月とモードは変らないが、大型から小型まで広く分布している。

（ビ　ン　ナ　ガ）

セイロン海区では不漁、アラビア海区も同様で、西部印度洋海区は好漁期であるが0.56の低率であつた。

（クロカワおよびマカジキ）

セイロン海区のクロカワは低率、アラビア海区では、例年より早く好漁を示し、西部印度洋北部では、中程度の漁況が続いている。

マカジキは、セイロン海区で好漁、西部より北東部が高く、アラビア海区も好漁であつた。

クロカワの体長組成は、アラビア海区において161—170cm のモードは変らないが3月より型の大きなものが減少している。

アラビア海区におけるマカジキは、セイロン、ガラパゴスと同じく大型で、モードも同様であつた。

K. 大　西　洋　漁　場

（象牙海岸西南海区）

大西洋漁場では、象牙海岸西南海区の北東部で、大型船2隻が2月に続いて調査されている。

（キ　ハ　ダ）

キハダは2月程ではないが好漁8.41で、2月のこの海区、3月のコンゴ海区に比較して減少がめだつている。

（メ　バ　チ）

この海区のメバチは不漁である。

（ビ　ン　ナ　ガ）

2月は0.40と非常に低率であつたが、4月には倍増して0.99となり、昨年4月のこの海区における釣獲率1.38に近くなつた。

（ク　ロ　カ　ワ）

クロカワも、昨年の漁況にくらべて低調で、不漁が続いている。

月別、漁場別、鮪類漁獲調査表

漁場	操業区域	調査隻数	体長測定船数	水温 (C°)	流向 流速	操業回数	漁具数	鈎数	ま きはだ	 めばち
0— 20N 140—120W	1— 3N 136—131W	1	0	27.5 8.4	270°	8	3,360	15,160	211 1.39	431 2.84
ガラバゴス	3— 9S 120—108W	4	2	26.1 27.8	W	82	33,488	161,275	1033 0.64	5784 3.59
0— 15S 140—120W	1— 7S 138—125W	4	1	26.7 28.3	NW 0.8 W/S 0.5	68	28,081	124,124	1595 1.29	3907 3.15
ミッドウエー	22— 26N 179—160W	5	3	20.0 23.4	E /S 0.5 W/S 0.9	82	26,852	128,304	89 0.07	1681 1.31
ハワイ南西 (5°N 以北)	5— 13N 180—160W	23	14	25.5 29.5	W0.4-0.5	369	158,284	714,115	1698 0.24	16000 2.24
ハワイ南西 (5°N 以南)	0— 4N 180—172W	2	0	28.5 30.2	—	21	8,011	34,204	1328 3.88	446 1.30
サモア	0— 12S 180—159W	21	10	26.1 35.0	270° 0.7-1.2	322	121,360	536,998	16737 3.12	3360 0.63
30— 35N 150E—180	30— 32N 167—170E	2	1	18.3 20.0	—	27	8,190	34,610	38 0.11	237 0.68
伊豆諸島東方	30— 32N 140—147E	3	0	17.7 20.1	NW	35	5,536	49,620	5 0.01	95 0.19
南海	30— 34N 133—140E	7	6	18.4 22.2	—	78	16,955	98,965	120 0.12	176 0.18
西部太平洋 (170°E以西)	24— 28N 143—147E	1	0	20.2 24.2	—	26	8,320	41,600	44 0.11	20 0.05
南洋北部 (170°E以東)	10— 12N 172—174E	2	1	25.0 27.1	—	31	11,958	47,832	67 0.14	903 1.89
南洋南部 (170°E以東)	2— 11N 170E—180	11	5	25.4 30.1	WSW1.0	171	109,116	472,712	3141 0.66	4668 0.99
南洋南部 (170°E以西)	0— 15N 130—171E	25	9	26.6 30.0	WNW,WSW SE/E0.2-0.3 W 0.2 NW 0.2-0.5	163	157,163	703,097	15098 2.15	5868 0.83

(昭和33年4月操業分)

(別表1)

ぐろ			かじき					かつお	雑	さめ	計	備考
びんなが	くろ鮪	いんど鮪	くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう					
			73 0.48	1 0.01	2 0.01	8 0.05	5 0.03			80 0.53	811	
436 0.27			708 0.44	30 0.02	272 0.17	32 0.02	3 0.00	117 0.07	82 0.05		8497	
392 0.32			775 0.62	10 0.01	55 0.04	25 0.02	7 0.01	37 0.03	204 0.16	6 0.00	7013 5.65	
17 0.01	7 0.01		41 0.03	3 0.00	170 0.13	117 0.09			35 0.03	30 0.02	2190 1.71	
182 0.03			1987 0.28	59 0.01	151 0.02	112 0.02	279 0.04	4 0.00	349 0.05	435 0.06	21256 2.98	
387 1.13			57 0.17	2 0.01		5 0.01	7 0.02		6 0.02		2238	
3148 0.59			1892 0.35	95 0.02	43 0.01	74 0.01	43 0.01	40 0.01	127 0.02	243 0.05	25802 4.80	
2288 6.61	5 0.01		4 0.01		11 0.03	16 0.05			1 0	183 0.53	2783 8.04	
2921 5.91	3 0.01				6 0.01	13 0.03			17 0.03	91 0.18	3151 6.35	
1655 1.67	47 0.05		1 0.00		27 0.03	34 0.03			52 0.05	339 0.34	2451 2.48	
15 0.04			5 0.01		339 0.81	21 0.05			59 0.14	261 0.63	764 1.84	
41 0.09			187 0.39	4 0.00	8 0.02	21 0.04	24 0.05		652 1.36		1907	
471 0.10	1 0.00		1012 0.21	29 0.01	21 0.00	30 0.01	146 0.03	33 0.01	411 0.09	42 0.01	10005 2.12	
17 0.00	2 0.00		1733 0.25	36 0.01	106 0.02	77 0.01	388 0.06	91 0.01	296 0.04	1092 0.16	24804 3.53	

漁場	操業区域	調査隻数	体長測定船数	水温 (C°)	流向 流速	操業回数	漁具数	鈎数	ま	
									きはだ	めばち
ソロモン	0— 9S 148—175E	8	4	28.0 30.4	SW SE	128	45,677	210,975	8432 4.00	1152 0.55
台湾東海	20— 22N 127—130E	1		25.6 28.0	—	20	6,000	30,000	149 0.50	17 0.06
フイリピン東海	0— 20N 124—130E	3		25.4 29.2	E ENE	29	10,863	69,406	1184 1.71	110 0.16
バンダフロレス	0— 1S 126—130E	1		28.4 9.8	—	15	24,020	96,080	1404 1.46	73 0.08
小スンダチモール	11— 15S 105—120E	2	1	29.1 30.6	—	29	32,505	40,333	613 1.52	245 0.61
アンダマンニコバル	5— 18N 89— 95E	8	2	28.7 31.2	SW NW, W SSW NE	110	32,342	161,882	4960 3.06	657 0.41
濠洲西方	15— 17S 118—122E	1		29.4 30.2	NW WNW	20	7,936	35,712	116 0.32	61 0.17
セイロン	5— 20N 70— 93E	25	7	28.0 31.2	NNW	361	167,306	1356,897	26084 1.92	4875 0.36
アラビア	0— 12N 55— 70E	5	2	28.3 30.8	ENE SW 0.3	101	40,787	178,348	3117 1.74	1693 0.95
西部印度洋	1— 6S 58— 78E	5	1	28.2 30.2	SW 0.1–0.3	74	30,086	145,230	5224 3.60	1209 0.83
象牙海岸	0— 4N 13— 0W	2		27.6 9.4	—	37	15,216	60,864	5118 8.41	78 0.13
合計	25	172	69			2407	1,181,289	6,194,938	97605 1.58	53746 0.87

（別表 1 ）

びんなが	くろ鮪	いんど鮪	かじき くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう	かつお	雑	めさ	計	備考
952 0.45			618 0.29	69 0.03	4 0.00	20 0.01	494 0.23	7 0.00	51 0.02	106 0.05	11905 5.64	
	7 0.03		30 0.10		36 0.12	7 0.03	18 0.06				264	
4 0.01			14 0.02	5 0.01	18 0.03	5 0.01	40 0.06	500 0.72	61 0.09	39 0.06	1980 2.88	
			4 0.00	1 0.00	2 0.00	4 0.00					1488	
1610 3.99		119 0.30	40 0.10	275 0.68	16 0.04	16 0.04	6 0.01				2940	
			158 0.10	132 0.08	1205 0.74	115 0.07	270 0.17	7 0.00	92 0.06	353 0.22	7949 4.91	
898 2.51		304 0.85	62 0.17	192 0.54	1 0.00	26 0.07	2 0.01	94 0.26			1756	
	4 0.00		2737 0.20	419 0.03	4772 0.35	698 0.05	961 0.07	343 0.03	750 0.06	1006 0.07	42649 3.14	
			2530 1.42	111 0.06	854 0.48	156 0.09	278 0.16	53 0.03	148 0.08	515 0.29	9455 5.30	
816 0.56	1 0.00		693 0.48	146 0.10	221 0.15	68 0.05	235 0.16	817 0.56	190 0.13	590 0.41	10210 7.03	
601 0.99	2 0.00		99 0.16			4 0.01	72 0.12			338 0.56	6312	
16851 0.27	79 0.00	423 0.01	15460 0.25	1619 0.03	8340 0.13	1704 0.03	3278 0.05	2143 0.03	3583	5749	210580	

月別、漁場別、鮪類体長組成表（昭和33年4月操業分）

（別表2）

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	50 cm以下	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171 cm以上	計	漁獲尾数
	1	ガラパゴス	6—9S 120—108W	22			3 5.4		2 3.6	1 1.8		1 1.8	3 5.4	3 5.4	5 8.9	12 21.4	12 21.4	14 25.6	56 100	203
	1	0—15S 140—120W	2—7S 133—121W	27										11 13.3	21 25.3	26 31.1	24 28.9	1 1.2	83 100	511
き	1	ミッドウェー	24—26N 179—172W	20								1 50.0				1 50.0			2 100	3
	12	ハワイ南西 (5°N以北)	6—13N 175—162W	234							4 0.8	14 2.7	106 20.5	170 32.9	111 21.5	59 11.4	28 5.4	25 4.8	516 100	769
	10	サモア	0—5S 180—159W	192				14 0.5	3 0.1	2 0.1	38 1.3	147 5.1	803 28.1	926 32.4	667 23.3	221 7.7	39 1.4	2 0.1	2862 100	10841
	5	南海	30—34N 133—139W	53							6 6.4	4 4.3	4 4.3	31 33.0	7 7.4	30 31.9	12 12.8		94 100	104
は	5	南洋南部 (170°E以東)	2—10N 170E—180	94							4 0.8	35 7.4	127 26.7	196 41.3	76 16.0	31 6.5	3 0.6	3 0.6	475 100	1569
	5	南洋南部 (170°E以西)	1—10N 130—171E	78			4 0.4		1 0.1		38 4.1	222 23.7	415 44.4	177 18.9	32 3.4	13 1.4	12 1.3	21 2.2	935 100	4761
	4	ソロモン	1—9S 152—175E	69				2 0.1	10 0.7	98 6.8	162 11.3	399 27.8	302 21.0	281 19.6	117 8.1	61 4.2	4 0.3		1436 100	4353
	1	小スンダ チモール	13—15S 118—120E	13							17 6.3	71 26.2	22 8.1	63 23.2	59 21.7	39 14.4			271 100	274
だ	1	アンダマン ニコバル	13—17N 89—92E	20							3 1.0	19 6.6	43 14.9	103 35.9	86 30.0	30 10.5	2 0.7	1 0.3	287 100	1079
	6	セイロン	10—19N 70—91E	149	28 1.8					1 0.1		35 2.3	197 13.0	435 28.6	398 26.2	357 23.5	69 4.5		1520 100	8888
	2	アラビア	9—12N 66—70E	47						3 1.0	11 3.8	45 15.4	80 27.4	80 27.4	55 18.8	13 4.5	4 1.4	1 0.3	292 100	1263

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	60 cm 以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181 cm 以上	計	漁獲尾数
	1	ガラパゴス	6—9S 120—108W	22						1 0.8	3 2.3			1 0.8	12 9.2	29 22.3	30 23.0	54 41.5	130 100	1412
	1	0—15S 140—120W	2—7S 133—121W	27									2 3.4	11 19.0	9 15.5	15 25.9	9 15.5	12 20.7	58 100	1395
め	3	ミッドウェー	22—26N 179—160W	59		2 0.7	4 1.4	1 0.3			1 0.3	2 0.7	10 3.4	41 14.1	75 25.9	72 24.8	57 19.7	25 8.6	290 100	1301
	14	ハワイ南西 (5°N以北)	5—13N 179—162W	25			1 0.0	1 0.0	3 0.0	26 1.0	134 5.3	207 8.2	341 13.5	648 25.6	452 17.9	351 13.9	196 7.8	168 6.6	2528 100	11390
	6	サモア	0—5S 180—159W	143					19 3.8	25 5.0	71 14.2	86 17.2	66 13.2	88 17.6	47 9.4	29 5.8	62 12.4	6 1.2	499 100	1231
	1	30—35N 150E—180	30—32N 167—170W	19					1 3.1	1 3.1	10 31.3	15 46.9	4 12.5	1 3.1					32 100	193
ば	6	南海	30—34N 133—140W	67					29 21.0	51 37.0	3 2.2	11 8.0	18 13.0	10 7.2	6 4.3	6 4.3	2 1.4	2 1.4	138 100	138
	1	南洋北部 (170°E以東)	11—12N 172—174E	13								3 1.8	37 21.6	59 34.5	34 19.8	25 14.6	9 5.3	4 2.3	171 100	750
	5	南洋南部 (170°E以東)	2—10N 170E—180	94						16 1.3	70 5.9	181 15.3	294 24.8	345 29.1	122 10.3	97 8.2	38 3.2	23 1.9	1186 100	3082
	7	南洋南部 (170°E以西)	1—10N 130—171E	116		9 1.1	29 3.5	2 0.2	5 0.6	82 9.8	132 15.8	188 22.5	168 20.1	126 15.1	59 7.0	24 2.9	11 1.3	2 0.2	837 100	1779
ち	3	ソロモン	1—9S 152—157E	56					2 0.6	16 5.0	44 13.6	86 26.6	51 15.8	54 16.7	44 13.6	19 5.9	5 1.5	2 0.6	323 100	677
	1	アンダマン ニコバル	13—17N 89—92E	20								2 3.2	7 11.1	17 27.0	23 36.5	13 20.6	1 1.6		63 100	238
	6	セイロン	5—19N 70—91E	131					3 0.7	1 0.2	30 6.7	20 4.5	25 5.6	96 21.4	90 20.0	114 25.4	56 12.5	14 3.1	449 100	1513
	2	アラビア	9—12N 66—70E	47					3 0.7	23 5.3	26 6.0	43 10.0	92 21.4	138 32.1	60 14.0	37 8.6	6 1.4	2 0.5	430 100	722

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	40 cm 以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121 cm 以上	計	漁獲尾数
びんなが	1	ハワイ南西 (5°N 以北)	6—10N 178—176W	23								8		1	9	11
												88.8		11.1	100	
	2	南海	30—34N 136—140E	21				1	25	7		3			36	262
								2.7	69.4	19.4		8.3			100	
	1	南洋南部 (170°E以東)	4—10N 170—179E	25							8	9			17	19
											47.1	52.9			100	
	1	ソロモン	2—4S 169—175E	20						10	23	7			40	174
										25.0	57.5	17.5			100	
	1	小スンダ チモール	13—15S 118—120E	13							110	9			119	818
											92.4	7.6			100	

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130 cm 以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251—260	261 cm 以上	計	漁獲尾数
くろかわ	2	ガラパゴス	4—9S 120—108W	45	4	3		4	8	25	18	13	14	9	13	6	6	4	2	129	433
					3.1	2.3		3.1	6.2	19.4	14.0	10.1	10.9	7.0	10.1	4.6	4.6	3.1	1.6	100	
	1	0—15S 140—120W	2—7S 133—121W	27		2			1	4	6	1		3	1					18	274
						11.1			5.6	22.2	33.3	5.6		16.7	5.6					100	
	3	ミッドウェー	23—26N 179—160W	59					1		1	1	4	1	4	1		2	1	16	36
									6.3		6.3	6.3	25.0	6.3	25.0	6.3		12.5	6.3	100	
	12	ハワイ南西 (5°N 以北)	5—13N 179—162W	221	11	22	64	109	202	83	49	26	32	18	17	14	7	6	4	664	1039
					1.7	3.3	9.6	16.4	30.4	12.3	7.4	3.9	4.8	2.7	2.6	2.1	1.1	0.9	0.6	100	
	7	サモア	0—5S 180—159W	135	10	32	66	60	53	19	20	20	35	33	10	13	6	6	4	387	906
					2.6	8.3	17.1	15.5	13.7	4.9	5.2	5.2	9.0	8.5	2.6	3.4	1.6	1.6	1.0	100	
	1	30—35N 150E—180	30—32N 167—170E	19											2	1				3	4
															72.5	2.5				100	
	1	南洋北部 (170°E以東)	11—12N 172—174E	13			1	3	8	2	2									16	97
							6.3	18.8	50.0	12.5	12.5									100	
	5	南洋南部 (170°E以東)	2—10N 174E—180	94	3	16	48	66	73	17	8	8	4	9	6	1	3		4	263	563
					1.1	6.1	18.3	25.1	27.8	6.5	3.0	3.0	1.5	3.4	2.3	0.4	1.1		1.5	100	
	7	南洋南部 (170°E以西)	1—8N 130—171E	116	22	37	70	77	57	16	11	6	6	1	2	2	2	3		312	494
					7.1	11.9	22.4	24.7	18.3	5.1	3.5	1.9	1.9	0.3	0.6	0.6	0.6	1.0		100	
	3	ソロモン	1—9S 152—175E	56	47	12	34	31	23	4	10	9	12	3	6	5	2	1	2	201	197
					23 4	6.0	16.9	15.4	11.4	2.0	5.0	4.5	6.0	1.5	3.0	2.5	1.0	0.5	1.0	100	

	1	アンダマン ニコバル	13—17N 89—92E	20				1 33.3	1 33.3	1 33.3										3 100	9
	1	アラビア	9—12N 66—69E	26		3 1.6	5 2.7	14 7.6	54 29.3	29 15.8	9 4.8	11 5.9	19 10.3	22 12.0	9 4.8	8 4.3	1 0.5	1 0.5		184 100	461

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130 cm 以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251—260	261 cm 以上	計	漁獲尾数
しろかわ	1	ガラパゴス	6—9S 120—108W	22											2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	8 100	9
	1	ミッドウェー	22—25N 173—160W	20				1 33.3										2 66.6		3 100	3
	7	ハワイ南西 (5°N以北)	6—13N 173—162W	130			2 12.5		1 6.3	3 18.7	2 12.5	1 6.3	1 6.3		1 6.3	1 6.3		1 6.3	3 18.7	16 100	19
	6	サモア	0—5S 180—159W	124		1 5.3	1 5.3	1 5.3		1 5.3	4 21.1	2 10.5	2 10.5	1 5.3	1 5.3		1 5.3	2 10.5	2 10.5	19 100	47
	2	南洋南部 (170°E以東)	2—10N 174—179E	39					1 14.3		1 14.3		2 28.6	1 14.3		1 14.3	1 14.3			7 100	11
	2	南洋南部 (170°E以西)	1—5N 130—147E	37						1 11.1	3 33.3	2 22.2	1 11.1		1 11.1	1 11.1				9 100	9
	2	ソロモン	1—9S 152—157E	36	1 3.1	6 18.8	11 34.4	1 3.1	5 15.6	5 15.6		2 6.3							1 3.1	32 100	46
	2	アンダマン ニコバル	7—18N 89—92E	31		1 2.1	3 6.4	2 4.3	1 2.1	12 25.5	3 6.4	8 17.0	5 10.6	6 12.8		1 2.1	2 4.3	2 4.3		47 100	4[illegible]
	4	セイロン	5—19N 70—91E	102		4 3.7	15 13.8	10 9.2	9 8.3	8 7.3	15 13.8	13 11.9	10 9.2	12 11.0	4 3.7	4 3.7		4 3.7	1 0.9	109 100	131
	2	アラビア	9—12N 66—70E	47	2 6.7	1 3.3	2 6.7	4 13.3	2 6.7	1 3.3	4 13.3	4 13.3	2 6.7	3 10.0	1 3.3	3 10.0			1 3.3	30 100	63
	1	西部印度洋	2—5S 58—61E	30					1 8.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3				12 100	79

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	100 cm 以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231 cm 以上	計	漁獲尾数
ま	2	ガラパゴス	4—9S 120—108W	45				2 1.1			22 11.9	34 18.4	59 31.9	50 27.0	13 7.0	4 2.2			1 0.5	185 100	185
	1	0—15S 140—120W	2—7S 133—121W	27									1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0				5 100	18

か	1	ミッドウェー	22—25N 173—160W	20			4 5.7	8 11.4	19 27.1	4 5.7	13 18.6	11 15.7	4 5.7	4 5.7	3 4.3				70 100	79
	6	ハワイ南西 (5° N以北)	7—13N 179—162W	96				7 9.6	5 5.8	4 5.5	14 19.2	15 20.5	11 15.0	10 13.7	6 8.2	1 1.4			73 100	96
	3	サモア	0—5S 180—166W	56	11 84.6									1 7.7	1 7.7				13 100	16
	1	30—35N 150E—180	30—32N 167—170E	19									1 11.1	6 66.6	1 11.1	1 11.1			9 100	9
じ	6	南海	30—34N 133—139E	67					4 17.4	2 8.7	5 21.7	3 13.0	2 8.7	4 17.4	2 8.7	1 4.3			23 100	23
	3	南洋南部 170°E以東)	4—10N 170E—180	70						2 25.0		1 12.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5				8 100	14
	2	南洋南部 (170°E以西)	1—10N 130—155E	31			14 35.0	15 37.5	7 17.5		3 7.5	1 2.5							40 100	40
	1	アンダマン ニコバル	13—17N 89—92E	20							1 5.9	4 23.5	5 29.4	6 35.3	1 5.9				17 100	167
き	6	セイロン	10—19N 76—91E	146			1 0.2		3 0.5	2 0.3	53 9.1	67 11.5	240 41.3	180 31.0	32 5.5	3 0.5			581 100	1351
	2	アラビア	9—12N 66—70E	47					1 1.2	1 1.2	4 4.9	11 13.4	29 35.4	26 31.7	6 7.3	4 4.9			82 100	301
	1	西部印度洋	2—5S 58—61E	30				1 5.5	2 11.1	2 11.1	5 27.8	5 27.8		1 5.5	1 5.5	1 5.5			18 100	103

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	80 cm以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201 cm以上	計	漁獲尾数
	2	ミッドウェー	23—26N 179—171W	39		7 18.9	1 2.7	1 2.7	1 2.7	1 2.7	3 8.1	1 2.7	2 5.4	1 2.7	3 8.1		7 18.9	9 24.3	37 100	67
め	7	ハワイ南西 (5°N以北)	6—13N 179—176W	130			1 2.9		1 2.9	2 5.9	3 8.8		1 2.9	6 17.6	4 11.8	8 23.5	1 2.9	7 20.6	34 100	46
	3	サモア	0—5S 180—170W	58	1 7.1				3 21.4	1 7.1	2 14.3	3 21.4	1 7.1	1 7.1	1 7.1		1 7.1		14 100	17
	1	30—35N 150E—180	30—32N 167—170E	19						2 14.3	7 50.0		1 7.1	1 7.1				3 21.4	14 100	14
か	4	南海	30—34N 136—140E	52				1 3.4	1 3.4	3 10.3	6 20.7	5 17.2	2 6.9	2 6.9	4 13.8	1 3.4	1 3.4	3 10.3	29 100	29

じ	336	南洋南部 (170°E以東)	2— 10N 170E—180	48				1 6.7		2 13.3	3 20.0		7 46.7				1 6.7	1 6.7		15 300	14
	337	南洋南部 (170°E以西)	1— 7N 130—171E	58				1 6.7	1 6.7	6 40.0	2 13.3	3 20.0	1 6.7		1 6.7					15 100	16
き	238	ソロモン	1— 4S 152—175E	43					1 12.5	2 25.0	4 50.0						1 12.5			8 100	6
	454	セイロン	5— 19N 70— 90E	78				4 3.1	7 5.5	4 3.1	23 18.1	35 27.6	31 24.4	15 11.8	4 3.1	1 0.8		3 2.4		127 100	132
	242	アラビア	9— 12N 66— 70E	47					1 11.1	2 22.2	3 33.3	3 33.3		1 11.1						10 100	112

マグロ漁況概況予報　（昭和34年3月）

神奈川県水試　遠洋資源係

今月より、従来の海区分けを変更し、太平洋については、北緯20°，北緯5°，西経140°，180°の各線により、9海区に分離し、印度洋については東経90°により東西に分離し、各海区毎に報告します。

1．太平洋南西部漁場

マーケサスからガラパゴスに至る赤道以南の海域は、漁獲量が緯度によりかなり異なり、キハダは、赤道から南緯5°の水帯と、南緯7°から15°の水帯が好漁で、釣獲率が3.0，南緯15°から25°迄の水帯もこの海域としては好漁で2.0，南緯5°から7°迄の水帯は不漁で殆んど漁獲がありません。

メバチは、赤道から南緯2°にかけては不漁期で2.0以下ですが、南緯2°から15°にかけては好漁で、南緯5°から7°迄の水帯が4.0，他の水帯が3.0になります。

2．太平洋北中部漁場

ミッドウエーから、北緯30°線を中心として東方にのびる漁場のメバチは、なお好漁で3.0になります。

3．太平洋中央部漁場

北緯5°から13°迄の、マーシャルからパルミラを経て西経140°に至る海域のメバチは好漁で、マーシャルから180°にかけての海域が2.5，180°からパルミラにかけての海域が3.0，パルミラから西経140°にかけての海域が3.0になります。

4．太平洋南中部漁場

キハダは、ファンニング東方と、ギルバートからエリスにかけての海域が上昇途上で2.0，他海域は全般的に好漁で、ギルバートからファンニングにかけての海域が3.0フエニックス、トケラウ周辺からマニヒキを経てマーケサスに至る海域の南緯10°以北が3.0になります。

ビンナガは全般的に不漁で、フエニックス周辺が1.5，エリス・トケラウ周辺と、サモアからマニヒキ、ソシエテにかけての海域が2.0，南緯15°以南は1.0になります。

5．太平洋北西部漁場

メバチは不漁で0.2，ビンナガは北緯25°から35°，東経130°から160°乃至170°にかけての海域が好漁で2.0，伊豆諸島西方も好漁で3.0になります。

メカジキは、北緯30°から35°，東経150°から180°にかけての海域が好漁で0.4になります。

6. 太平洋中西部漁場

北緯5°から13°迄の、パラオからマーシャルにかけての海域のメバチは低下途上で釣獲率は低く、1.0程度です。

7. 太平洋南西部漁場

各魚種とも緯度により異なり、キハダは、赤道から北緯5°の東経130°から170°にかけての水帯が不漁期で2.0，赤道から南緯5°の、ニューギニア北東沿海から東経170°にかけての海域が好漁で4.0，ソロモン周辺が3.0，ソロモン以南からニューカレドニアにかけての海域、及び、さんご海は低下途上で2.0になります。

ビンナガは、東経150°から180°にかけての海域の、南緯10°から13°の水帯が好漁で3.0，南緯13°から20°の水帯は不漁期ですが、漁獲率は比較的高く2.0，他海域は全般的に不漁です。

クロカワは全般的に好漁で0.5，シロカワとマカジキは不漁で、殆んど漁獲がありません。

8. 印度洋東部漁場

キハダは、バンダ・フロレス海が上昇途上で2.5，小スンダ南岸沿海が2.0，アンダマンからニコバルを経てスマトラ南西岸にかけての海域が好漁で3.5，ジャワ西方は周年変化なく2.5，ジャワの南方と南緯10°以南は不漁で1.0になります。

メバチは全般的に不漁で、アンダマンからニアス西方にかけての海域が0.5，ジャワ西方が1.0，ジャワ、小スンダ南方が0.3程度です。

インドマグロは好漁末期で2.0，ビンナガ、シロカワ、マカジキは不漁で、ビンナガは、南緯10°以北が0.5，以南が1.0，シロカワとマカジキは殆んど漁獲がありません。

9. 印度洋中西部漁場

キハダは、ベンガル灣とアラビア海が上昇途上で2.5，赤道以南の東経60°以東が低下途上で2.0，赤道以南の東経60°以西はなお好漁で4.0になります。

ビンナガは南緯10°以南が好漁で3.0，赤道以北のクロカワは不漁で0.2，ただし、アラビア海の北緯8°以北では1.5以上の好漁になることがあります。

10. 大西洋漁場

この漁場のキハダは赤道の周辺に最も多いが、その分布は非常に複雑であり、特に季節との関係もみられません。唯、大きな海区毎に漁況をみますと北緯5°から10°，西経30°から45°の海域が8.0，象牙、黄金海岸の南方海域が12.0で共に好漁、マラニヨン北方の北緯5°以南からレシフェ東方にかけての海域は極めて不漁になります。

ビンナガは、レシフェ東方の沖合が好漁で10.0になります。猶、赤道付近にもかなり分布していますが、レシフェ東方の沖合程高率ではありません。

會員レポート

東部太平洋赤道付近の3月の海況とマグロの生態

会員 石渡喜久司 (オ30振興丸漁撈長) -(オ13号)-

2°—3°S, 130°—128°Wの付近の潮流はW系統で非常に早く、潮上りは困難である。風向はESE—SEで風力は2—3である。

キハダ、メバチ共に魚体が大きく、半数は卵をもつている。サメには胎児はいない連日、サメの喰われが相当ある。

ハワイ南西海区10°N線の3月の漁況

会員 伊藤定規 (オ30昭福丸漁撈長) -(オ14号)-

ハワイ南西海区 8°—11°N, 175°—160°Wの3, 4月のメバチ操業船はのべ40数隻、水温は例年の如く25.8—27.7である。最初の3月初旬より中旬過ぎ迄は上記海区は非常に良好な漁況を呈し、特に8°—10°N, 165°—160°W付近は連日1,200貫位の漁模様を呈した様である。魚種の8割迄はメバチで、クロカワ、マカジキ、キハダは一回に3, 4本程度入る。本船は3月12日より操業を始めたが適水に恵まれず、操業なかば過ぎ迄漁獲の不振を続けた。1回800貫止りという有様である。終り頃になつて、11°N 169°40′W付近に於て4回操業し、5000貫程度をあげた。水温は26·8—27.1, この頃はメバチ操業船も連日500貫位の終漁漁況が続いている。沖合9°N, 160°Wに3隻操業船がいるが、4月初めよりだめである。

本航海操業中例年と異なる点は、12°N, 168°—163°W付近で割合に良好な漁況があつたことである。水温は25.7—8で、メバチは大型魚が多い。室戸船が45隻操業している。何れも3月中旬頃の操業で1回平均1,000貫の漁況である。

0°—5°Nのキハダはまだ早いのかぜんぜんだめ、3°S, 170°W付近でトンボ混りのキハダ1,000貫位の船があり、他は、マーシャル近海、ギルバート付近まで良好な漁況はない。

(T. N 編)

キハダ、メバチ、ゴウシユウマグロの体長−体重換算圖表

(但し、体重は水揚時の内臓が除去された体重)

中　込　淳　(神奈川県水産試験場)

マグロ類の体長−体重換算圖表を本誌に発表することは、かねてより、会員から、何回も要望がありましたが、機会がないまま今日に致つてしまいました。幸いこの程資料も得られ、算出する機会も得られましたので、ここに発表します。猶、キハダとメバチの体長、体重測定に當つては鮪漁業研究会石渡健次氏の協力を得ゴウシユウマグロの体長、体重測定はゴウシユウマグロの形態調査の一環として神奈川県水試沿岸資源係小林良雄氏と協同で行いました。ここに明記し、両氏に謝意を表します。

キハダ、メバチ、ゴウシユウマグロの体長と体重の関係は、圖1の資料（各点）から次のような式となる。

キ　ハ　ダ　　$Y = 0.000011981\ X^{3.607}$

メ　バ　チ　　$Y = 0.000018976\ X^{3.007}$

ゴウシユウマグロ　　$Y = 0.000007250\ X^{3.159}$

（但し、Xは体長、Yは体重でkg）

そこで、この式を計算しやすい式になおすと次のようになる。

キ　ハ　ダ　　$\mathrm{Log}\ Y = 3.067\ \mathrm{Log}\ X - 4.922$

メ　バ　チ　　$\mathrm{Log}\ Y = 3.007\ \mathrm{Log}\ X - 4.720$

ゴウシユウマグロ　　$\mathrm{Log}\ Y = 3.159\ \mathrm{Log}\ X - 5.140$

従つて、この式を使用すればよいのですが、船や市場等で使用する場合には、いちいち計算していては間に合いません。そこで、上式を曲線圖になおして圖1に表わし体長10cm毎の体重は更に表1に表わし、併わせて貫数も記入しましたので、これを御利用下さい。

表 1. 体長→体重換算表

魚種	cm	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	210
キハダ	kg	8.2	11.8	16.3	21.8	28.5	36.5	45.8	56.6	68.9	82.8	98.8	116.2	136.7	158.5
	貫	2.2	3.1	4.4	5.8	7.6	9.7	12.2	15.1	18.4	22.1	26.3	31.0	36.4	42.3
メバチ	kg	10.1	14.3	19.7	26.1	34.1	43.4	54.1	66.5	80.7	96.8	115.1	134.9	158.1	182.8
	貫	2.7	3.8	5.3	7.0	9.1	11.6	14.4	17.7	21.5	25.8	30.7	36.0	42.2	48.8
ゴウシユウマゴロ	kg	7.5	10.8	15.1	20.3	26.8	34.5	43.6	54.2	66.4	80.4	96.4	113.8	134.6	156.7
	貫	2.0	2.9	4.0	5.4	7.1	9.2	11.6	14.5	17.7	21.4	25.7	30.3	35.9	41.8

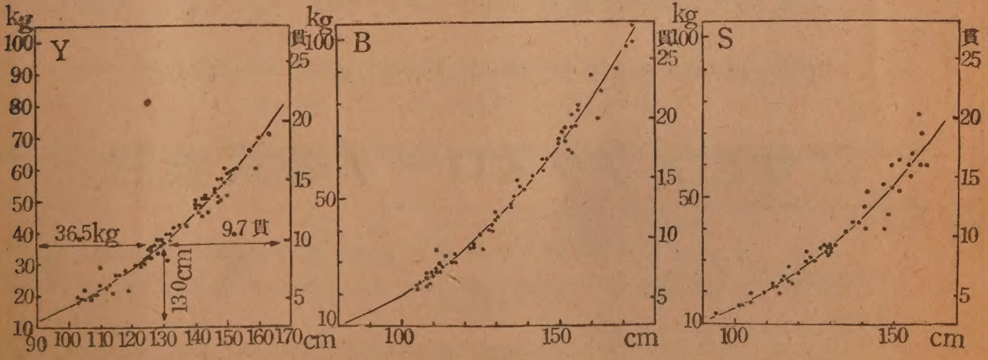


圖 1. 体長→体重換算圖　(Y; キハダ B; メバチ S; ゴウシユウマグロ)

鮪類標識放流について

◇昭和34年1月1日から1月31日までの間に標識の委託をなした船数は1隻（10本）である。

◇昭和34年1月1日から1月31日までの間に放流実施の報告があつた船数は1隻（2尾）である。

放流実施船名及び実施の概要

船　名	標識番号	放流年月日	放流位置	魚種（尾数）
大勢丸	×0148	33年12月14日	17度35分 S 54度47分 E	きはだ (1)
〃	×0150	33年12月7日	20度34分 S 50度35分 E	めばち (1)

お　願　い

◎大變恐縮ですが昭和32年分33年分會費（一ヶ年分1,700円）未納の方は本會宛至急拂込送金方（振替貯金口座横浜1472）お願い致します。尚整理の都合もあり會費切れの向には一時會誌の送本を中止することに致しますからお含み願い致します。

◎昭和31年度版鮪類水揚地調査報告が出來上つております。殘部僅少でありますが御希望の向はお申込下さい。定價1部400円 但し既刊の昭和28年.29年.30年度分と一括購入の場合は4冊特價1,100円（送料共）

鮪延繩の御注文は最新設備により製造する
當社に御紹介下さい……………

營業種目……クレモナ、綿延繩及仕立、漁具一式、救命筏

アサヒテツクスロープ株式会社

本社　東京都三鷹市下連雀四〇〇番地　電話 武藏野 3978・7923番
出張所　神奈川県三浦市三崎町花暮一四四番地　電話 三浦 2957番

鋼木船造修一般

500噸 船 台 三 基

起重機 10噸・5噸各一基

三崎船舶工業株式会社

本社 東京都中央区西八丁堀2の10
電話築地(55) 9661〜6
工場 神奈川県三浦市三崎町向ケ崎2446
電話(三浦) 2880・2934・2343

営 業 種 目

船舶・陸上

冷凍・冷蔵・製氷・冷房

冷凍・冷蔵・製氷工場
急速・空気凍結装置
冷房装置・冷凍機械器具
防熱装置・船舶冷凍冷蔵
設計 製作 施工

協同低温工業株式会社

本 社 東京都千代田区神田佐久間町河岸58 (夏目ビル2階)
電話下谷(83) 0996番

鮪 漁 業

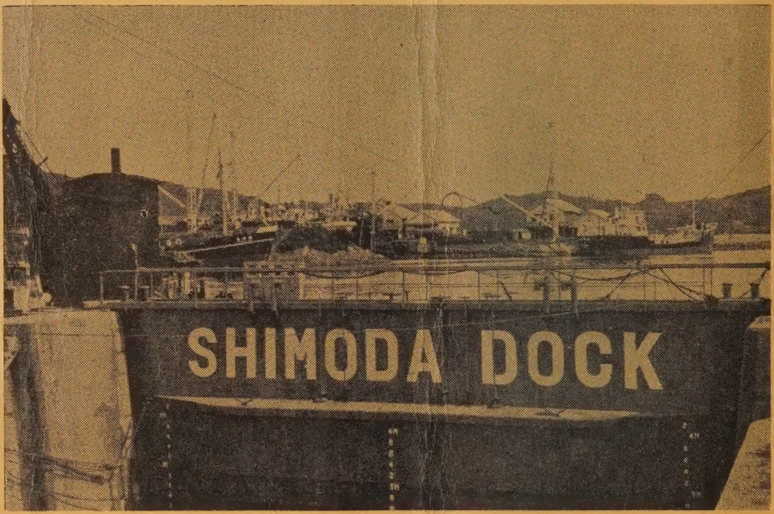
1959年2月号

昭和34年2月10日印刷
昭和34年2月10日発行
監　修　　神奈川県水産試験場調査部
編集兼発行人　菅　野　進
神奈川県三浦市　神奈川県水産試験場内
発行所　鮪漁業研究会
(振替貯金口座 横浜 1472)

800屯ドライドック完成

船渠	大きさ	長さ	幅	深さ	
		59.15 米	14.0 米	6.6 米	
	入渠可能船舶	長さ(垂線間)	幅(型)	吃水(平均汐高線1.7米に於て)	総屯数
		57.0 米	11.0 米	4.41 米	800 屯

船台兼船架	建造又は上架可能船舶	構造	長さ	総屯数	数量
		4条軌条算盤式	50 米	500 屯	2
		2条軌条式	50 米	250 屯	2



下田船渠株式会社

静岡県下田港　本社事務所 電話下田 1001(代表)～3番　本社現場事務所 電話下田1005(代表)～6番
武ヶ浜工場 電話下田 1008(代表)～9番
東京事務所　東京都中央区銀座東4－4 畜産会館1階　電話東京(54)9270(直通),4121(代表)－2

紫綬褒章に輝やく
泉井式ラインホーラー

株式會社　泉井鉄工所
高知県室戸町

鮪漁業 第五十六号 昭和三十四年二月十日発行 (毎月一回十日発行)
昭和三十一年二月二十三日 第三種郵便物認可